

令和7年度第3回教育研究評議会議事録

日 時	令和7年6月4日(水) 開会 午後3時00分 閉会 午後3時46分
場 所	第1会議室(オンライン会議併用)
出席者	榮坂学長、長谷山理事長、米澤理事、村田副学長、川口副学長、平山副学長、川村副学長、星野副学長、森田教授、新井教授、佐藤教授、八久保教授、黒河教授、澤田教授、内島教授、三浦教授、奥山事務部長、南教授、榎井教授、高橋教授、升井教授、小西教授
欠席者	大津教授
陪 席	柏木監事、布施監事

議 事

1 教員の選考について

(1) 応用化学系助教選考委員会の設置について

学長から、応用化学系長から教員選考の申し出があり、令和7年6月2日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 令和8年3月31日で任期満了となる教員の業績審査について

業績審査委員会委員長の村田副学長から、別紙(資料2)に基づき、当該委員会の審査の結果について説明があった。

引き続き、北海道国立大学機構教員の任期に関する規程により採用された北見工業大学教員業績審査要項に基づき可否投票を行った。

投票の結果、審査対象者1人を任期の定めのない教員とすることが承認された。

3 非常勤講師の選考について

学長から、応用化学系長および地域国際系長から非常勤講師の選考に関する申し出があった旨説明の後、企画総務課長から別紙(資料3-1~3-2)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4 令和8年度概算要求事項について

学長から、令和7年6月2日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、川口副学長から別紙(資料4-1~4-3)に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・資料4-2の措置教員等の状況について、教員(AI倫理)1名とあるが、新規に1名採用する予定であるということか、との質問があり、記載のとおり基礎教育系の教員採用分を要求することを考えているとの回答があった。

5 北見工業大学学術コンサルティング規程(案)について

学長から、令和7年5月26日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、研究協力課長から別紙(資料5-1~5-3)に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

- ・他大学において、本制度を使用した事例があれば教えていただきたい、との質問があり、具体的な内容については不明であるが、利用事例はあると聞いており、教員側からの要望もあったため当該制度を整備することとなったとの回答があった。

6 北見工業大学バイアウト制度実施要項（案）について

学長から、令和7年5月19日及び5月26日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、研究協力課長から別紙（資料6-1～6-3、参考資料）に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の意見があった。

- ・代行の上限をなくしたとの発言があったが、研究費を取ってくれば教育活動をしなくてもよいという状況が生じる懸念があるため、上限を設けた方が良いとの意見があり、申請書にこの制度を用いることでどのくらい講義時間数が減少するかを記載する欄があり、提出されたものを確認することで問題のあるものについては事前に抽出が可能であると考えている、との回答があった。

- ・Q&Aに非常勤講師がオンライン講義を行うことが可能としているが、本学のコンセンサスとして対面で授業を行うとすることとしているのでその旨記載できないかとの質問があり、本学のルールに則り教務委員会を通じて許可を得たものについて認めることとしているとの回答があった。

また、遠隔地であるからという理由でオンライン講義が認められる例があるが、もう少し明確なルールを設けた方が良いのでは、との意見があり、本学の立地上、近場で非常勤講師を探すのが困難であるケースが多いため、非常勤講師の移動時間も考慮しオンラインも認めることとしている、との回答があった。

- ・実施要項第5条第2項（対象となる業務）に「社会貢献活動及びこれに付随する事務に関する業務」との記載があるが、本学教員に依頼された社会貢献活動を非常勤講師に代行させては意味がないのではないのかとの質問があり、研究が忙しいのであれば社会貢献活動を引き受けないという前提はあるものの、やむを得ない事情がある場合は制度上代行が可能というものであると認識いただきたいとの回答があった。

- ・研究費がなくなった場合は他の予算から支出とするのではなく、即座に制度の利用を止めることにしたらよいのではないかとの意見があり、記載の意図としては当該制度に係る非常勤講師の人件費不足分は大学では負担しないとの意図で記載したものであるとの回答があった。

報告事項

- 1 令和7年度教員活動経費の配分について（資料7） （川口副学長）

次回教育研究評議会 令和7年7月9日（水）午後3時00分開催予定